★「個が光る調和のまち・一戸」の創造を目指して

Public Relations 広報いちのへ
Ichinohe 7
Jul 2009 No.564

たくさん食べて大きくなろうね

一戸小学校（小山田四一校長、児童数 195 人）で 6 月 12 日に行われた 1 年生親子レクリエーション。給食をもりもり食べる柳島蒼（やなぎしまそう）さんと笑顔で見守るお母さんの望さん。かけがえのない楽しいひと時です。

おいしく食べて 豊かに生きる

Supecial edition

特集

Ichinohe Public Relations
Jul.2009.7.No.564
広報いちのへ Ichinohe

豊かな緑、心地よい風、歩く幸せ感じこぼれる笑顔

いちのへの 地産地笑 *For Smile*

みんな生き生き どんどん歩こう

健康ウォーキング教室

効果的なウォーキングは血流を良くし、継続することで生活習慣病の予防や老化防止に役立ちます。

町ではウォーキングに関する正しい知識の習得と楽しさを共有しようと健康ウォーキングを六月二十五日に行い、百人を越える参加者が集いました。この事業には県国保連合会、県在宅保健活動者連絡協議会、いちのへ文化・スポーツＮＰＯ、中山の園指導員、保健推進協議会、食生活改善推進協議会の協力を得ました。

午前は、県ウォーキング協会の菊池充子さんによるウォーキングの楽しさと正しい方法の講演などが行われ、午後は御所野縄文公園を目指してウォーキングが行われました。

参加した田頭克己・雪子夫妻は「歩幅などウォーキングの正しい知識を学びました。これを機会に二人でウォーキングを楽しみます」と弾けるような笑顔で話してくれました。

㊧ウォーキングの前後には講師の指導で念入りにストレッチ運動などを行いました。
㊨「一戸はいろいろな土器が出ているんだな～」。御所野縄文博物館では地域の文化についても理解を深めました。

▶お話を聞いた田頭克己さん・雪子さん夫妻

編集後記

今月は、編集後記も皆さんからのホットな情報で締めたいと思います。▼七月一日、田頭金物店（一戸本町）の店先で指を指すのは田頭静枝さん。そこでせっせと親キセキレイがえさを運んでいます。六月初めからが巣作りを始め、五日から卵が一つづつ見られ、二十二日、みごとな五つ子ちゃんが誕生しました。▼食育の取材では、おいしいものをたくさんごちそうになり、ありがとうございました。優しい人と自然いっぱい、次は地産地消に、取り組みたいと考えています。

総務課庶務係　久保田太一

「巣立つと、さみしくなるね」と話す静枝さん。情報ありがとうございました。

◉広報いちのへ 7 月号の印刷経費は 1 部 48.0 円です

■編集・発行　一戸町・一戸町広報編集委員会
〒 028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢 24-9 ☎ 0195-33-2111
■メール kouhou@town.ichinohe.iwate.jp
■ホームページ http://www.town.ichinohe.iwate.jp

ミックス品 FSC認証林、管理された森林、リサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです www.fsc.org Cert no. CU-COC-808041 © 1996 Forest Stewardship Council
PRINTED WITH SOY INK
広報いちのへは、環境に配慮し、大豆油インキと FSC 認証紙を使用しています。

Supecial edition

特集

おいしく食べて豊かに生きる

健やかな心と体をはぐくむ大切な食。わたしたちが生きていくために食は欠かせないものです。
今、わたしたちが深くかかわる食の中で「食育」という言葉が注目されています。
「食育」は食に関するさまざまな経験を通じ、それぞれの年齢に応じた食の知識と健全な食生活を推進できる力をはぐくむことです。
食をめぐる取り組みや、それらにかかわる人たちの話に耳を傾けながら、食育を通して「おいしく食べて豊かに生きること」をともに考えていきましょう。

豊かな実りをわたしたちの手で 小鳥谷小学校の学校農園で農作物づくり

小鳥谷小学校（熊谷紀子校長、児童数84人）では5月27日、学校農園で5年生18人が田植えに、2年生12人がメロンの苗植えに挑戦。
地域の農家の方がボランティアで参加し、植え方を教えてくれました。汗や泥にまみれた子どもたちの表情はきらきらと輝いています。
1年生はさつまいも、3年生は大豆、4年生はかぼちゃ、6年生はじゃがいも栽培に奮闘中。
実りの秋と子どもたちの成長が楽しみです。

■小鳥谷小学校では学校の求めに応じ必要な支援を地域のボランティアが行う体制を構築する学校支援地域本部事業に取り組んでいます。仁昌寺博さん（写真左）をコーディネーターに、平中源三さん、穀蔵昭治さん、中村奈緒子さん、下村栄子さん、柴田久栄さん、松森佐一さんなど地域の方の協力で農作物づくりに励んでいます。

「食」をともに学んだ一日

■食育センター見学（一戸小学校一年親子レク）

一戸小学校一年生親子レクでは、児童たちの給食を作っている食育センターの見学を六月十二日に行いました。参加したのは児童三十一人と保護者二十九人。元気に歩いて食育センターを目指します。

食育センターに到着し、ガラス越しに給食を作っている様子を見学。一日に約千二百人分の給食を調理員が手分けし手際良く作っていく様子に歓声を上げたり、パンフレットと見くらべたり興味津々。

見学後は千葉文絵栄養教諭から「米、パンなど熱や力になる黄色い食べ物（炭水化物）」「肉や魚など血や肉、骨になる赤い食べ物（タンパク質）」「野菜や果物など体の調子を整える緑の食べ物（ビタミン）」をバランス良く取るなどの栄養のお話を聞き、給食を作る調理員から児童たちへの手紙を読みました。

小学校に戻った参加者は、見学した給食を一緒に食べました。ともに食を学び、つながりを深めた楽しく思い出に残る一日になりました。

柴田勝仁さん・尚斗（なおと）くん
勝仁さん：初めて参加しましたが、とても楽しかったです。今後もなるべく参加したいですね。
尚斗くん：食育センターでは知らなかったこともたくさん。お父さんといっしょでうれしいな。

中田妙子さん・珠夢（みゆ）さん
妙子さん：あらためて食の大切さを学びました。子どもとゆっくり過ごせてうれしいです。
珠夢さん：食育センターの栄養の話は楽しかったです。今日はごはんを残さず食べました。

がんばってできました!!

体を丈夫にして学校へ上がろう

■カミカミ教室（一戸幼稚園）

健康福祉課が行う幼児期のカミカミ教室が、六月十六日に町民文化センターの調理室で行われました。

この教室では、一戸幼稚園のひまわりぐみの園児七人と保護者が雑穀を使ったスープカレーと水菜サラダ、フルーツラッシーのメニューで昼食づくりに取り組みました。

教室には事前にメニューを試作した食生活改善推進員が参加して、親子の昼食づくりをサポートしました。

教室ではまず、お互いに自己紹介。食改員は「おいしい食事を作って体を丈夫にして小学校へ上がりましょう」と元気にあいさつを行いました。

エプロンを着た園児たちはスープカレーに入れるミートボールをこねたり、サラダの材料を切ったりと大活躍。

初めて包丁を使った園児が手を滑らせ、指を少し切っても「もう一回がんばる」と再挑戦する姿が見られました。

「苦手な野菜も食べれたよ」みんなで作った昼食にたくさんの笑顔が広がりました。

高田真理子さん・凌矢（りょうや）くん・佳奈（かな）ちゃん
真理子さん：子どもと一緒に料理して子どもの成長も知ることができて楽しかったです。
凌矢くん：きらいなトマトを食べることができました。佳奈ちゃん、待っててくれてありがとう。

戸田マキ子さん・昂汰（こうだい）くん
マキ子さん：楽しかったです。これを機会に子どもにいろいろな経験をさせてみたいです。
昂大くん：お母さんと料理できて楽しかった。今度は大好きなオムライスの手伝いをしたいな。

栄養と愛情いっぱいおやつ

役場隣り旧保健センターで月・水・金曜日に活動する子育て支援広場「のびのび」では６月17日、雑穀のおやつづくりに初挑戦。

お母さんやおばあちゃんたち12人が子どもたちのためににんじんのすりおろしやホウレンソウのみじん切り、雑穀などが入った栄養と愛情いっぱいの「あわ入り蒸しぱん」づくりに取り組みました。

メニューを考案した鳥海地区の食改員３人がサポート。「皆さんから元気をもらいました」と食改員もにこやかにほほ笑みました。

㊤でき上がったあわ入り蒸しぱん。㊦鳥海地区食改員の皆さん。㊨熱気があふれる会場。

「おいしい」は健康な歯から

鳥越小学校では全校で歯を大切にする意識を高めようと歯科講話と歯みがき指導を行いました。

1、２年生の児童については保護者、祖父母も参加。担任の先生と普段の食生活などを話しながら一緒に給食を食べました。

続いて学校歯科医の岩渕壮之助先生がむし歯と歯肉炎の予防について児童と保護者にお話しました。

また岩渕歯科医院の歯科衛生士が歯並びにあったみがき方の工夫や歯肉炎を予防するみがき方など、歯みがきの実践指導を行いました。

㊤仕上げみがきには保護者の助けが不可欠です。㊨どれどれ、上手にみがけているかな？

地域のつながりを楽しむことが食文化を継承、発展させる

「お湯を入れるのは、これぐらいでちょうどいいね」。会場は活発な会話と真剣な表情で熱気があふれます。

世代間交流を図り、鳥越地区の行事食「笹まき」づくりを継承、発展させようと始まった第二回とりごえ竹細工・笹まき祭り（鳥越地区活性化推進協議会主催：田村和雄会長）は六月二十八日、鳥越もみじ交遊舎で行われました。

このイベントの笹まきづくりの講習会には、同地区で五十年以上笹まきづくりに携わる柴田ミチヱさんを講師に迎え、食生活改善推進員が協力。参加希望者は予定を大幅に越え、町内外から三十人が集まりました。

◆

笹まきは鳥越地区では単に「まき」と呼ばれ、かつては旧暦の五月の節句にほとんどの家で作られました。団子をつつむ笹の若葉は、滅菌力も強く保存性に優れ、ほんのり甘い団子に笹の香りや風味が染みこんでいるのが特長。

かつて鳥越地区は田が少なく、米は貴重品。笹まきはひえで作られました。昭和三十年代後半ころから笹まきをつくる家庭が次第に減り、限られるようになりました。

地域に伝わる伝説では「その昔、近郊の村々に疫病が流行り、恐れた里人が『笹まき』を作って観音さまに供えたところ、鳥越地区には病が入って来なかった。以来、笹まきを作って供え、食べてきたので鳥越にはこの病が入らないで済んだ」とされています。

◆

参加者は米粉で真っ白になりながら、楽しそうに笹まきづくりに取り組みました。

鳥越もみじ交遊舎の鈴木隆館長は「笹まきづくりは予想以上に参加者の関心が高くて驚きました。食はすべての人に共通するもの。笹まきは地域の豊かな風土が織り込まれた行事食ですし、家庭で趣向を変えられる手軽さも手伝って、注目されているのではないかと考えています。

しかし、高い関心の一方で地域では笹まきづくりを行う家庭が近年、減少しています。

地域の食文化を継承、発展していくために、イベントとして取り組んだり、食生活改善推進員などが若い人の食生活に合う笹まきづくりに取り組むなど、今の時代に合わせながら、地域のつながりを楽しんでいくことが大切ではないでしょうか」と話しました。

㋐講師を中心に盛り上がりを見せた笹まきづくり。㋑会場ではこの地域6軒の家庭でつくる笹まきの試食も行われた。中に入れるものも家庭でさまざま。㋒鳥越が誇る伝統工芸、竹細工の作品展示や即売会、制作体験なども行われた。

■笹まきづくりをサポートした食改員　柴田智（とも）さん（鳥越中野平）

講師のミチヱさんは近所に住んでいて昔から母のように姉のように親しくお付き合いさせていていただき、いろいろなことを教えてもらっています。

今日のような地域の食を守ろうというイベントは地元に知らせる意味でもとても良いことだと感じました。

竹細工とともに鳥越地区の良いものをみんなで残していきたいですね。

■笹まきづくりの講師を務めた柴田ミチヱさん（鳥越中野平）

今日は地域の方をはじめ皆さんと笹まきを作ることができて本当に楽しかったです。思えば、鳥越に嫁いでからもう50年以上、笹まきを作っています。

鳥越地区に限らず、この食文化が何代も何代も続いてほしいと思います。

また、このような機会があれば体が大丈夫なうちは、楽しみに来たいと思っていますよ。ねえ、智さん。

■鳥越の「笹まきレシピ」

①米の粉に熱湯を少しずつ加えて混ぜ合わせ、よくこねる。
②くるみを入れる笹まきには、砂糖を少々入れてもいい。
③ごまは摺ったものに砂糖を少々加える。くるみはきざんでおく。
④①をピンポン玉くらいにちぎって、すりごま、くるみを入れて棒状に形を整える。
⑤笹の若葉3枚を使って包み、い草で両端を結ぶ。
⑥熱湯で10分くらいゆでる。

■材料（35本分）　米の粉1升　もち米粉1合　くるみ50g　ごま45g　砂糖 少々　笹の若葉（6月の柔らかいものを使用）、い草など

「食」がはぐくむもの

■食育座談会　食育活動を推進する３人が、それぞれの「食」を語り合いました。（6月26日・町総合保健福祉センター）

食生活改善推進協議会　一戸南学童クラブ　健康福祉課栄養士
柿木洋子会長×**小野寺多美子**指導員×**澤村友子**
※文中ではそれぞれ 柿・小・澤 で表記します

澤…それでは、よろしくお願いします。まずお二人が活動する食生活改善推進協議会、一戸南学童クラブの食育活動の概要をご紹介ください。

柿…食生活改善推進協議会では会員百五十三人が一戸北・南、浪打、鳥海、小鳥谷、中山の六地区で、それぞれ自主的に地域のイベントや地区の健康教室、最近は学校主催の親子料理教室や手づくりおやつ教室など、乳幼児から高齢者まで食を通じた健康づくりボランティアとして活動をしています。また、地域食で栄養価の高い雑穀を使った料理の研究にも取り組んでいます。

小…一戸南学童クラブが食育に取り組んだのは三年前にカレーライスづくりをしたのがきっかけ。料理をする楽しさを伝えたいと思ったが、どうしても野菜を好きになれない子がいる。そこで農業体験を通じて野菜を知ってほしいと、役場の産業課に相談しました。そして昨年、町民農園に畑を借りて「ハッピーのうえん」を作り、民部田武雄農業技術指導員にご指導いただきながら、子どもたちと野菜づくりに挑戦しました。

澤…子どもたちは野菜づくりにどのように取り組み、どんな変化が見られましたか。

小…野菜づくりは畑の草取りや土づくりなど一から始めました。民部田先生は作業の指導だけでなく、手製の紙芝居でジャガイモができるまでを熱心に伝えてくれました。そのおかげで、子どもたちは野菜づくりが始まると草を取る、土を掘る、一つひとつの作業をとても喜んで楽しそうに取り組んでいました。

夏のジャガイモの収穫では土の中からジャガイモを掘り出すと歓声を上げ、カレーライスづくりでも自分たちで作った野菜をみんな、おいしそうに食べました。

野菜づくりを通して感じた子どもたちの成長は人の話をしっかり聞き理解すること、心にゆとりができたこと、食を通じて人とのつながりなど、いろいろなことに興味を持ったことです。

柿…わたしたちも南学童のカレーライスづくりに参加しました。八月のとても暑い日でしたが、子どもたちは汗を流し、一生懸命料理し、わいわいおいしそうに食べました。子どもたちは農業体験を通して、大変な思いで育てる本当の野菜を知ったのだと思いますよ。何事も興味を持つことでどんどん好きになっていく。大人も勉強になる経験でした。

澤…ところで、貴重な体験を子どもたちにさせられるものの、畑の管理など大変な面も多いのではないですか。

小…確かに、こまめに草を取るなどの作業もありますが、そこは地域の皆さんの協力をいただいて行っています。皆さんがそれぞれの得意分野で楽しくかかわっていただくのが南学童クラブの特長です。

澤…今後は、どのように活動を展開したいと考えますか。

小…これからは手づくりの野菜を産業まつりなどの機会に子どもたちの手で販売し、お金を手にする「働く」という経験をさせたいと思っています。子どもたちが大人になっていつか思い出し、自分の子にそのような経験をさせたいと考えてくれれば幸いです。

柿…わたしたちは今後も食を通じた地域住民の健康サポーターでありたいと思います。高齢化が進み、誰もが不安を持って生活し、こもりがちになる傾向がありますが、皆さんに住み慣れた地域で元気でいてほしいと思います。

これは私の夢なのですが、行政と関係するグループの皆さんと連携をとりながら、高齢者で生活に不安を感じている方に地域近隣の方がおかずの一皿でも持ちながら、目配り気配りし、声掛けをする訪問活動のようなことができればと考えています。

私たち食改員だけではなく、栄養面では栄養士、健康面では保健師さんや保健推進委員、運動のことは作業療法士さんなど、みんなが一緒になって取り組めれば、心身ともに安心して暮らせる地域がつくれるのではと思いますし、それはみんなの願いです。それには地域でいろいろな方が顔を合わせて身近に気軽に話し合える場があればと思います。これからも私たち食改員一同、前向きに楽しく活動をしていきたいと思います。

澤…行政の立場からお話しすると、どうしても地域に目が行き届かない範囲があるのは事実です。そこを地域の皆さんと同じ目線で話し合い、補い、連携したいと思います。

食育はさまざまな食に関する経験を通じ、それぞれの年齢に応じた食に関する知識を身に付け、健全な食生活を推進できる力をはぐくむこと。

町の皆さん一人ひとりがこの自然豊かな町で人とのつながりを感じ、町の食育目標である「おいしく食べて豊かに生きる」という充実感で満たされるようなまちづくりをともに進めていきましょう。

子どもたちが大人になった時思い出させるような経験を

一戸南学童クラブ
小野寺多美子指導員
平成16年から一戸南学童クラブ指導員。3年前から食育に取り組む。子どもたちが夢を持てるような体験をいっしょにすることがモットー。好きな食べ物はサクランボ。

♥みんな大好き!! ハッピーのうえん
一戸南学童クラブは、みんなで草取りを7月3日に行いました。「ジャガイモ少し大きくなったな〜」「テントウムシがいたよ!!」とてもにぎやかで楽しそうな草取りでした。

食を通じた地域住民の健康サポーターでありたい

一戸町食生活改善推進協議会
柿木洋子会長
平成6年に食改員になり、平成10年から会長を務める。「次につながるような前向きな活動を」と会員153人と食を通した健康づくりを推進する。好きな食べ物はイチゴ。

「おいしく食べて豊かに生きる」充実感で満たされたまちづくりを

一戸町健康福祉課
澤村友子栄養士
平成14年から現職。何事も前向きに一所懸命取り組むのが信条。食生活改善推進協議会や関係機関、住民と連携し食育に取り組む。好きな食べ物はごま・きなこ・抹茶。

Interview

わたしは学校給食の献立作成や衛生管理、そして町内の小中学校で児童生徒への食育指導を行っています。

献立は国で示されている栄養価の基準をもとに、塩分の取り過ぎやカルシウムの摂取量などを考慮しながら作成しています。

食材はお米については農薬を減らして町内で生産される特別栽培米、牛乳、ヨーグルトなどは奥中山産、野菜も地場産を取り入れ、なるべく地域のものを取り入れるようにしています。栄養価の高いアマランサスやいなきびなどの雑穀も使います。

感謝を伝えることで心がまっすぐ育ってほしい

一戸町食育センター
千葉文絵栄養教諭
平成20年から町食育センターの栄養教諭。好きな食べ物はキウィ。

食育については食を通してこどもたちの心身の健やかな育成につなげることが目的ですが、わたしは特に心の部分に力を入れています。毎月発行している食育だよりには給食に食材を提供していただいている生産者や調理をしている方のお話や食事のあいさつの意味を添えます。

「おいしかった」という声を聞き、給食の残菜が少ない時にはとてもうれしく思います。

子どもたちが食を通して感謝の気持ちを持ち、つくる人へ気持ちを伝えることで心がまっすぐ育ってほしいと思います。

「おいしく食べて豊かに生きる」とは？

平成十九年六月、食育を町の共通理念として統一し、効果的に推進していくために、町では「一戸町食育目標」を策定。食にかかわる一人ひとりの視点を大切にした内容の目標です。

「食」は社会全体の問題 町の食育目標を策定

平成十七年に施行された食育基本法ではこの法律が制定された具体的な背景を①「食」を大切にする心の欠如②栄養バランスが偏り、不規則な食事の増加③肥満や生活習慣病（糖尿病）の増加④「食」の安全の確保が困難な事態⑤伝統ある食文化の喪失など、具体的に説明しています。

このような状況は個人の問題だけでなく社会全体の問題として考えることが必要です。また、「食育」という言葉を聞いても人によりまったく違うイメージを持っていたのが現状でした。そこで一戸町では町の特性を踏まえた「一戸町食育目標」を平成十九年に定めました。

一人ひとりが食について考える力を

一戸町食育目標の基本理念は食を通じ、健康保持増進を目指すもの。そこで町では、町民一人ひとりが生涯を健やかに暮らすことができるように考えました。「食べる」つまり「自らの食について考え、健康に配慮した食事を選択する力」や「食べる幸せに感謝し、心豊かな食生活を営む力」を育て、健康寿命が延伸する将来あるべき姿を目指し、**おいしく食べて豊かに生きる**を町食育目標に定めました。

食育への考え方を共有し、推進します

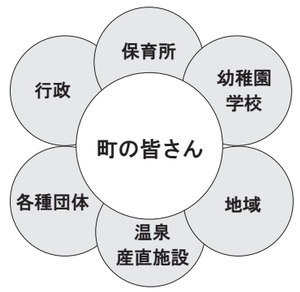
食育基本法で掲げる食育を広域的に推進するための基本的施策は家庭、学校、保育所などでの食育の推進、地域での食生活の改善の推進や食文化の継承、生産者と消費者との交流促進など、多岐にわたります。

「食」は単に料理を作って食べることだけではなく、人への思いやりや健康づくり、食品の流通や文化を学ぶこと、自然にかかわることなど、さまざまな要素を含んでいます。

一人ひとりの生活にかかわる食育を推進していくためには、みんなが将来像を具体的にイメージし、共有することが大切です。

そこで町の食育は、それぞれの人生の舞台となるライフステージに応じ、「食をはぐくむ（食育）」ことができるよう六つの視点をもとに、食育への考え方（イメージ）を体系化し、方向性をまとめ、表として示しました（次ページ参照）。

まちの相談室の栄養相談も気軽に利用してください



■一戸町食育ネットワークイメージ図

つながりを広げながら多くの人にきっかけを

町食育目標を実現するためには、町に暮らす皆さんが個人、団体として自らの役割を理解し、協力し、それぞれの取り組みが重なり合うことにより、さらに多くの人が食育に取り組むきっかけを広げていくことが大切です。

地域のつながりで食育ネットワークをつくり上げ、誰もが「おいしく食べて豊かに生きる」町を目指しましょう。

一戸町食育目標：おいしく食べて 豊かに生きる

時期	食育の6つの視点	食育の方向性	主な取り組み	連携機関など
乳児期	**安心と安らぎの中で食べる意欲の基礎づくり**	▼すべての乳児がいる家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、食育（子育て）支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境なども把握や助言を行い、健やかな乳　児の健全育成を図る。	●妊娠届け時の健康相談 ●各種健診時における食育指導 ●こんにちは赤ちゃん事業 家庭訪問 ●モグモグ（離乳食）教室 ●カミカミ（幼児食）教室 ●おやこの食育教室	・県立病院 ・町学校保健会 ・町歯科連絡協議会 ・保育所 ・幼稚園 ・生涯学習課
幼児期	**食べる意欲を大切に、食の体験を広げよう**	▼親子で一緒におやつ作りや食事作りの体験学習の場を就学前施設に設定し、より多くの幼児と保護者へ、食体験を通じ、食の大切さを理解してもらい、さらに実践へつなげる力の習得を図る。		
学童期	**食の体験を深め、食の世界（自然と食べ物・地域と食べ物との関心）を広げよう**	▼望ましい食生活の定着を目的として、地場産食材である雑穀、豆などの素晴らしさを知り、日常食に多様な食べ物を取り入れ、楽しんで食事をとることの大切さを学ぶ場を提供し、食を営む力の形成を図る。	●学校給食だより支援 ●おやこ食育教室 ●食育支援事業（学童クラブ） ●一戸町学校保健会への参加	・町学校保健会 ・町歯科連絡協議会 ・学童クラブ ・地区公民館 ・学校教育課
思春期	**自分らしい食生活を実現し、健やかな食文化の担い手になろう**			
青、壮年期	**生活習慣病（メタボリックシンドローム）と骨粗しょう症を予防しよう**	▼生活習慣病（メタボリックシンドローム）を予防するために望ましい食習慣の定着、及び介護を要さないために骨粗しょう症・低栄養予防食の普及を図る。	●基本健診結果説明会 ●家庭訪問食育指導（特定高齢者含む） ●まちの健康相談（骨年齢測定及び食育指導） ●温泉利用健康づくり教室 ●地区健康づくり教室 ●高齢者いきいきサービス食育支援 ●食生活改善推進員養成講座 ●一人暮らし老人宅配弁当	・地区公民館 ・介護予防施設 ・温泉施設 ・産直施設 ・社会福祉協議会 ・国保連合会 ・産業課
高齢期	**おいしく食べて、低栄養にならないようにしよう**			

協力：町食生活改善推進協議会・保健推進委員協議会・お元気サポーター・地域住民など

特集　おいしく食べて豊かに生きる

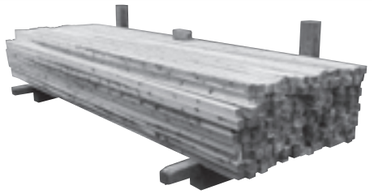
■子育て支援広場「のびのび」でのおやつづくり。つながりの輪が広がっています。

間伐材の丸太を角材に加工する工程。厳しい目で品質をチェックする。

きらり一戸人 いちのへびと

自分たちで良い商品を作り、自分たちで売る姿勢を守り続けたい

岩手県などが出資した「いわてインキュベーション２号ファンド」で県北地方の企業として初めて投資を受けた



㈱木村産業

株式上場を目指す成長性のあるベンチャー企業などへの積極的な投資を目的に岩手県などが出資し、平成十八年に設立した「いわてインキュベーション2号ファンド」。

その投資先に本町の製材・木材販売業木村産業（木村康司代表取締役＝女鹿字蛇ノ島＝）が決まり、三千五百万円の投資が実行された。県北地方の企業が同ファンドから投資を受けるのは初めてだ。

県農林水産業のリードを期待される経営体

木村産業は東北地域の森林組合などから丸太を調達し、町にある本社で調達・加工・乾燥・物流・販売まで一貫して行っている企業。その生産能力は年間原木消費量（一年間に加工できる丸太の量）で約十万㎥と全国八千社の製材業者の中でも五本の指に入る。

ファンドを管理運営するフューチャーベンチャーキャピタル㈱（京都市）の報告によると投資理由は次の三点。

■株式会社　木村産業
一戸町女鹿字蛇ノ島
■設立時期　平成 18 年 7 月
■従業員数　36 人
■業種　製材・木材販売業

■いわてインキュベーション２号ファンドの投資状況
①ファンド規模　3 億 6,500 万円
②ファンド期間　10 年間 (平成 18 年 2 月～平成 27 年 12 月)
③投資先企業数　5 社 (今回の㈱木村産業を含む)
④投資実行済額　1 億 7,780 万円 (今回の㈱木村産業を含む)

■お話をお聞きした木村康司代表取締役社長

■ NEDO（新エネルギー・総合開発機構）補助事業を活用した樹皮再利用システム

㊨材木からはいだ樹皮の繊維を裁断し、燃料として利用する機械。
㊧樹皮を燃焼した熱を利用して製材した木材の乾燥を行う装置。
㊦樹皮を燃焼するボイラー室。下部に中央に見えているのが燃焼部。コンピューターで制御され、無人で稼動している。

まず第一に取引先の大手商社、金融機関からも非常に評価が高く、製材業界の第一人者となる期待が持てる経営者としての資質があること。

二点目に工場が減少し、市場規模が減少する中で、シェアを拡大していること。さらにNEDO（新エネルギー・総合技術総合開発機構）の補助事業を活用し、他社では廃棄する樹皮を燃料として活用するなど工夫した事業を行っていること。

そして、三点目はファンドとして「県北沿岸地域・農林水産業」を重視し、県内の「農林水産業をリードする経営体」として期待することだ。

景気が悪くても自分たちの商法を

木村産業は平成十八年七月に個人事業から株式会社化。

今回の投資の話を木村康司代表取締役社長からお話を伺うと「話が具体化してから四、五カ月、監査や資料の提出など大変でしたね」と苦笑い。

「相手がある仕事ですから約束、納期など、これまで何でも仕事優先で守るべきものは守ってきました。それを取引先が評価してくれ、投資にもつながったのでは」と話す。

「これまで樹皮は、たい肥センターに持ち込んでいましたが、運搬費は月数百万円掛かりました。その処分費がなくなるだけでなく、木材の乾燥などの燃料として活用でき、石油など化石燃料の削減もできると考えました。システムのレイアウトも試行錯誤して、補助事業に応募し、採択いただいたものです」と振り返る。

仕事のやりがいについて伺うと「従業員を雇っていくので精一杯。これまで楽してやってきたわけではないし、やりがいを感じる余裕はありません。社長をやっていく限り、景気が悪くてもそれを乗り越えるために考え、苦労を続けなければなりませんし、そうしないと取り残されます。景気が悪くても自分たちの商法を考え、注文をとり、工場を動かし、雇用を全うさせていくのが大変です」。

工場内は機械化が進み、自動で製材するシステムも導入。

今後については「自分たちで良い商品を作り、自分たちの手でお客様に売る。その姿勢は守り続けたいです。今後も少子化が進み、家を建てる建築材の需要が減少するのは明らか。木材で需要を高める新商品開発のビジョンを考えなければなりません」と気を引き締める木村社長。

取材を終え、「やりがいがありました。従業員から『おかげさまで子どもが就職できた』と話を言われたり、従業員の子どもの成長を見られた時が一番うれしい。それで十分」と笑顔の木村社長だった。

豊かな自然に恵まれた㈱木村産業。

国勢調査に半世紀尽力
鈴木昭一さんが藍綬褒章を受章

春の褒章、町から受章者

春の褒章で鈴木昭一さん（83）＝鳥越過利石＝が藍綬褒章を受章しました。

鈴木さんは、昭和二十二年から平成十二年までの半世紀で十二回の国勢調査に従事。約三十世帯を受け持ち、正確な調査に尽力されました。平成十三年には総務大臣表彰を受彰しています。

鈴木さんは国勢調査を始めたきっかけを「父から引き継いで始めたものです。調査の時は家業の合間を見ながら、各家を訪問しましたが、相手の時間帯なども考えなければならなかったので、忙しい思いもしました」と振り返ります。

また、「仕事は石工でしたから、石垣を積んだりする仕事などで、数カ月家を空けることが多かったです。そんな中で行っていた国勢調査でしたから、いろいろなことがありました。しかし、妻、そして家族が支えてくれました。その支えがあって半世紀も続けることができたと思います」と感謝の気持ちを話す鈴木さんでした。

町長から藍綬褒章の伝達を受けた鈴木昭一さん（6月9日）。

「えいっ」、「やーっ」
りりしいはかま姿に興味津々

教育委員会が町内小学校でなぎなた見学会を開催

町教育委員会では六月十五・十六・二十二日に町内小学校を訪問し、なぎなた見学会を行いました。

六月十六日には町教育委員会が行うなぎなた教室で指導を行う小笠原宏志総合運動公園場長と県立大野高等学校の小笠原智子講師、なぎなた教室に通う上村友梨佳さん（一戸小二年）、平野菜穂子さん（一戸南小四年）、柴田陽菜香さん（一戸南小四年）、平野芽衣子さん（一戸南小二年）が小鳥谷小学校（熊谷紀子校長、児童八十四人）を訪問しました。

小鳥谷小の全児童を前に小笠原智子講師がなぎなたについて説明し、四人の児童が演技を披露、小鳥谷小学校の児童はとても興味深そうに見学しました。

実演後は児童から剣道との違いやなぎなたの長さなど、積極的な質問が出されました。

最後になぎなたを披露した四人から小鳥谷小学校の児童に「とても楽しいスポーツです。教室でいっしょになぎなたをやりましょう」と呼び掛け、活気あふれる見学会になりました。

手に汗握るなぎなたの実演に小鳥谷小の児童から熱い視線が注がれました。

ふるさとをきずなに

在京一戸人総会を開催

なつかしい再開に思わず笑顔がほころびました。

在京一戸人会総会が東京都の中野サンプラザで六月十三日に開催されました。

同会は関東地区に暮らす町出身者や縁（ゆかり）のある皆さんが交流を図るために活動している団体です。参加者五十二人が、同会から招待された稲葉町長をはじめ町から駆けつけた関係者とともに交流を図りました。

懇親会では最後に参加者全員で「星影のワルツ」を合唱し、ふるさとに思いをはせながら親睦を深める一日となりました。

県消防協会二戸地区支部消防操法競技会
第二分団第一部（向町）貫禄の三連覇
第五分団第二部（小友）健闘の第四位

第2分団第1部（向町）の完成度の高い操法。会場の熱い視線が注がれました。

県消防協会二戸地区支部消防操法競技会が六月二十八日開催され、気温三十度を超える猛暑の中、市町村の予選を勝ち抜いた精鋭十チーム（自動車ポンプの部五チーム、小型ポンプの部五チーム）が一戸町役場駐車場に集結しました。

五年ぶりに当町で開催ということもあり、会場には出場チーム以外の消防団員や一般の観覧者も多数駆け付け、応援にも熱が入りました。

開会式では、県消防協会二戸地区支部長の千葉崇二戸市消防団長が、昨年の全国消防操法大会における一戸町消防団の輝かしい活躍にふれ、来年の県大会、さらには、全国大会出場（小型ポンプの部）をも視野に入れ、大いにがんばってほしいと激励のあいさつをしました。

また、地元出場選手を代表して第二分団第一部（向町）の瀧澤誠班長が高らかに選手宣誓をして競技が開始されました。

競技は自動車ポンプの部から開始され、第二分団第一部（向町）は合計タイムで他チームを圧倒、総合得点189・5点を記録して、堂々優勝。見事に三連覇を達成しました。

小型ポンプの部には第五分団第二部（小友）が初出場しました。緊張の中、選手は士気高い操法を展開し、好タイムを記録しました。総合得点81・0点で入賞まであと一歩の第四位でした。

初出場のプレッシャーの中、健闘した第5分団第2部（小友）。

高原の味を全国へ発信

新岩手農協が高原野菜出発式

新岩手農協（本所滝沢村、田沼征彦組合長）の奥中山高原野菜出発式が奥中山高原野菜集出荷場で 6 月 12 日に行われました。

出発式には農協関係者や生産者たちが出席。テープカットが行われ、レタス類約 1 万ケースを含む高原野菜が積まれた大型トラックが東北各地や首都圏に向け出発しました。

同農協では、平成 19 年度から標高 800㍍でレタスを試験栽培しており、今年度は畑地を 3㌶増やし計 7㌶に拡大。新規品目、長ネギの栽培促進、比較的生産しやすいトマトの推奨にも力を入れ、新規就農者の確保を図っています。

高原野菜を積んだトラックの前でテープカットを行う関係者。

感謝を花束と言葉に込めて

一戸子供の家保育園で「花の日」

一戸子供の家保育園（長内薫園長、園児数 78 人）の年長児、すみれ組 15 人が花束を持って町内の職場を訪問する「花の日」が 6 月 18 日に行われました。これは地域の人たちの働いている職場を訪問してその様子を知り、花を贈って感謝の気持ちを表そうとするものです。

園児たちは 2 グループに分かれて町内の職場 10 カ所を訪問。園児たちは「今日は花の日です。いつもお仕事をしてくださり、ありがとうございます。これからもみんなのためにお仕事がんばってください」と感謝の言葉と大きな花束を手渡して、感謝の気持ちを伝えました。

ＩＧＲ一戸駅では駅員さんと記念撮影。園児たちは充実した表情でした。

お元気朗人、ハッスル、ハッスル

第 34 回一戸町老人体育大会、和やかに開催

第 34 回一戸町老人体育大会が 6 月 25 日に町民文化センター体育館で行われ、町内の老人クラブ 25 チーム、484 人が参加しました。大会では 9 種目の競技で競い合い、参加者は交流を深めました。おそろいのユニフォームで参加するチームや、選手の活躍する姿に大きな声援を送るチームなどが見られ、楽しく和やかなひとときを過ごしました。

面岸福寿会の外岡ミヨスさん（面岸一本木）は「今回初めて参加し、思うように体が動きませんでしたが、皆さんとお会いできて、とても楽しかったです。来年もがんばります」と息を弾ませながら話しました。

狙いを定めて、いざ真剣勝負、ゲートボールリレー。

彩りの世界、地域の憩いの場へ

畫場和徳さん宅で「あやめ祭り」行う

中央が畫場和徳さん、左が母親の麗子さん。地域の人や親族も楽しみました。

一面に咲いたあやめを楽しむ「あやめ祭り」が畫場和徳さん宅（一戸樋ノ口）で行われ、地域住民など 50 人が参加し、交流を図りました。この祭りは 20 年ほど前から樋ノ口地域で取り組んでいたものを、3 年前から畫場さんが引き継いだもの。6 月後半のあやめの見ごろに昼場さん宅の敷地 20㌃に約 2,000 本のあやめが咲き誇ります。あやめの手入れなどボランティアの方も活動しているそうです。

畫場さんは「あやめの本数や種類を増やし、地域づくり、憩いの場としてとして盛り上げていきたいと思います。皆さんも気軽にいらしてください」と話していました。

三ケ田さんもエールを送る

いちのへサンビレッヂクラブ総会行われる

総合型地域スポーツクラブ「いちのへサンビレッヂクラブ」（坂下正則会長）は会員 40 人が参加し、コミュニティセンターで設立して初の総会を 7 月 3 日に開催しました。

当日はスポーツクラブらしく総会前に全員で軽いレクリエーションゲームを楽しみ、体と心を軽やかにしました。

総会に出席された岩手県体育協会特別指導員の三ヶ田礼一さんは「いちのへサンビレッヂクラブは参加者も多く、活動も盛ん。子どもたちのトレーニングも一生懸命行っているようです。その中から将来の岩手、日本を支える子どもたちが育ってほしいですね」と期待を込め話しました。

総会には三ケ田さんをはじめ、来賓が多く出席、期待の高さが伺えました。

みんなの川、みんなできれいに

上馬淵川漁業組合の呼び掛けで馬淵川清掃

大雨で川に残されていた流木も、事故防止のため、協力して撤去しました。

上馬淵川漁業組合（稲葉暉組合長）では 6 月 30 日、馬淵川の清掃作業を行いました。これは馬淵川の環境を守るために清掃活動を行い、きれいな川でアユ釣り解禁を迎えようとするもの。組合員や遊魚者たち 78 人（葛巻地区、小鳥谷地区含む）がゴミ袋や草刈機を手に清掃や草刈りなどの環境保全作業を行いました。

作業に参加した大谷昇さん（西法寺関屋）は「みんなの川をみんなで環境保全に取り組むことはとても良いこと。お互いの様子を見守り、明日からのアユ釣りを事故がないよう楽しみたいと思います」と流れる汗をぬぐいました。

団結力が強み、一戸中学校卓球部です。

■部員　男子 28 人・女子 17 人　■顧問　男子　渡辺トモ子教諭　女子　戸來まり子教諭

◎男女とも岩手県中学校総合体育大会に出場。部長にそれぞれお話を聞きました。

✽大下裕太部長（3 年 2 組）

中総体二戸地区予選では昨年の新人戦で優勝していたということもあり、うれしいというよりは、ほっとした気持ちです。

わたしたちのチームの良いところは団結力。試合に出ない人も試合をしている人と同じ気持ちで応援してくれ、それが力になります。

県中総体では、集中力を高めてベスト 4 を目指します !!

❀高田悠佳部長（3 年 2 組）

中総体二戸地区予選では。緊張しながらも良く動き、声を出して初戦から全力で試合に臨むことができました。

今まで励まし合いながら培った団結力をもとに、さらに練習に取り組み、県大会では 1 回戦突破を目標にがんばります。

―ありがとうございました。県大会がんばってください。

町の文芸

五月短歌・俳句会
一戸町文化協会俳句部会
会場　小鳥谷地区公民館

短歌

野も山も輝くいのち語りくる　佐藤　大暁
無言のことば五月の光

太幹にいだく歳月はるかにて　初森　テル
野に立つ桜花のかがやう

万歩計五千歩なりし坂登り　仁昌寺　洋子
肺深きまで新緑を吸ふ

わが県のキャストも出づるミュージカル　岩渕　良子
不朽坊ちゃんに心うばはる

葬りたる母への想ひ切々と　東山　智子
友の便りの文面埋む

わらび座の若き団員隣り合ふ　女鹿　昌子
熱演讃へ素顔見守る

折れ落ちし枝に生命（いのち）の有るかぎり　馬林　京子
最後の花の誇らかに咲く

短パンのマラソン坂を行く少年　柴田　サヨ子
赤銅色の脚は乱れず

憂きごとの多きこの世に咲き継ぎし　中村　ちよ
桜の美にこそ心やすらぐ

俳句

水仙の葉で水仙を束ねけり　中村　ちよ
一面の菜の花満ちて岩手山　高木　満里
花筏浮かべたゆたふ堀の水　中舘　木実
桜蘂（しべ）受けて二人で立ち盡す　柴田　サヨ子
募る憂さ庭の若葉に吸ひ取らせ　女鹿　昌子
マイマイ蛾戸口にぷらり訪づるる　岩渕　良子
春光の七段の滝描きたり　東山　智子
啄木忌われも明治の時鐘打つ　駒木　秋影子
辛夷咲く立つ風虚し古戦場　根反　与之
水張田に囲まれ村の暮れゆけり　仁昌寺　洋子
吊り橋の眼下山吹広がれり　柴田　のぞみ

※中央の模様は、柴田外男広報編集委員（中山大塚）がデザインしました

♪一歳になったよ♪

夏井 日菜子（ひなこ）ちゃん
（一戸砂森）
平成 20 年 5 月 20 日生まれ
お父さん　大介さん
お母さん　真樹さん
お父さん、お母さんから一言
これからもかわいく育ってね♥

塩谷 心菜（ここな）ちゃん
（一戸大沢）
平成 20 年 4 月 2 日生まれ
お父さん　智夫さん
お母さん　直美さん
お父さん、お母さんから一言
ここ、大好き、大好き♥

大森 翔太（しょうた）ちゃん
（中山家向）
平成 20 年 4 月 7 日生まれ
お父さん　一博さん
お母さん　由香利さん
お父さん、お母さんから一言
笑顔で育ってね♪

高見 心花（このか）ちゃん
（小鳥谷野中）
平成 20 年 3 月 12 日生まれ
お父さん　重章さん
お母さん　直子さん
お父さん、お母さんから一言
優しい子に育ってね♥

広報クイズ

～一戸町共通商品券～
（1,000 円分）
3 人にプレゼント！

先月号の当選者は、小笠原徹さん（中山大塚）、高間木美智子さん（平糠高間木）、大欠ミヨさん（小鳥谷川向）です。おめでとうございます。

◎広報クイズです。

問題

特集で登場した鳥越地区に伝わる郷土食は何？

「○まき」

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢（学校名・学年）、電話番号を記入し、

〒028－5311
一戸町高善寺字大川鉢24－9広報クイズ係まで。

（七月二十九日締切り）

※余白に町政への提言などを自由にお書きください。

★一等星

仕事について三年。初心に戻り、お客様への気付きを大切にしたい

守村亜耶佳さん　もりむら・あやか
結愛サービス公社　21歳

ショートステイ事業所で利用者の食事や入浴など生活の支援を行う介護福祉士の守村亜耶佳さん。

守村さんが福祉を志したのは中学生の時、大好きなおばあちゃんが倒れて入院し、何も世話をできない自分に悔しい思いをしたこと。

「あの時、何か一つでも学んだり、身に付けていればと思いました」と思い出す。

それから一戸高等学校の福祉科で学び、実習先としてもお世話になった結愛サービス公社へと進んだ。

この仕事のやりがいは利用者からの感謝の気持ち。「言葉の不自由な中でも感謝や気遣いの言葉を伝えようとする気持ちが伝わると感動します」と目を輝かす。

今後は「仕事につき、三年。初心に戻り、あらためて相手の態度や動きに目を配り、気付きを大切にしたい」と。

おばあちゃんは「体を大切に」と気遣い、応援してくれるという。おばあちゃんも亜耶佳さんを大好きなようだ。

Q趣味は？―ショッピング

♪一歳になったよ♪ ―― 8 月に 1 歳を迎える赤ちゃんの写真を募集 !! ご希望の方は 7 月 29 日までに広報までご連絡願います

ふるさと寄附金（ふるさと納税）を募集します。

ふるさと寄附金制度

一戸町では、ふるさと納税制度を活用した寄附金を募集しています。皆さまからの寄附金は、一戸町が行う事業の財源として活用させていただきます。「ふるさと納税」制度とは、ふるさとを応援したい、ふるさとに貢献したいという思いを、その地方公共団体へ寄附金という形で表したときに、現在住んでいる市区町村で支払う住民税や所得税が軽減されるものです。ぜひ、一戸町にご寄附いただき、ふるさとを応援くださいますようお願いします。

●寄附金の使い道

⑴赤ちゃんの健やかな成長のための事業
（予防接種の負担軽減、妊産婦・乳幼児健康診査の拡充など）

⑵活力あるまちづくりのための事業
（移住・定住の促進、産業の振興など）

⑶次世代の一戸町を担う人材育成のための事業
（幼児教育・小中学校の教育環境の整備、地産地消メニューによる学校給食の実施、図書館蔵書購入費など）

⑷その他の事業
（上記以外の施策に使い道を希望したい場合）

⑸町長おまかせ
（特に指定がない場合は、町長が定める事業に活用します）

●平成 20 年度のふるさと寄附金額と使い道

平成 20 年度は、９人の方から 39 万円の寄附をいただきました。使い道は次のとおりです。

使い道		単位：円
⑴赤ちゃんの健やかな成長のための事業	予防接種事業	42,000
	妊婦乳幼児健康診査事業	42,000
⑵活力あるまちづくりのための事業	新規就農者支援事業	42,000
	山ぶどう販売対策事業	42,000
⑶次世代の一戸町を担う人材育成のための事業	幼稚園・小中学校教材購入費	42,000
	図書館蔵書購入費	※ 100,000
⑷その他の事業	総合運動公園内樹木管理費	※ 20,000
	県営畑地帯総合整備事業	※ 60,000
合　計		390,000

※は寄附された方から使い道の指定があったものです。

●寄附の申込から寄附金税額控除申告までの流れ

① 寄附者 ➡ 寄附金納付申込書の送付➡ 一戸町
寄附金納付申込書に必要事項をご記入のうえ、一戸町までお送りください。
一戸町にご連絡いただければ、返信用の封筒を同封して申込書を郵送します。
納付方法は、現金納付、口座振込、専用納付書による納付が選択できます。

② 一戸町 ➡納付書などの送付➡ 寄附者
寄附申込書にご記入いただいた納付方法に応じたお知らせを発送します。

③ 寄附者 ➡ 寄附金の納付➡ 一戸町
ご指定の納付方法で寄附金を納付していただきます。

④ 一戸町 ➡ 領収書などの発行➡ 寄附者
寄附金の領収書（受領証明書）と寄附金税額控除申告書を送付します。

⑤ 寄附者 ➡寄附金税額控除の申告➡ 税務署またはお住まいの市区町村
一戸町が発行した領収書を添えて、税務署で確定申告をしてください。
税務署への確定申告が不要な方は、お住まいのある市区町村へ寄附金税額控除申告書を提出してください。

↓

所得税の還付、住民税の税額控除（翌年度）が受けられます。

応援お願いします。（一戸中学校体育祭、5 月 16 日）

ふるさと寄附金のお問い合わせは
〒 028-5311　岩手県二戸郡一戸町
高善寺字大川鉢 24-9
一戸町役場　総務課
（ふるさと寄附金担当）
電話：0195-33-2111（内線 205）
FAX：0195-33-3770
ichinohe@town.ichinohe.iwate.jp
※ホームページアドレスは
http//:www.town.ichinohe.iwate.jp/soumu/furusato/furusato.htm

図書館だより　Books

新刊紹介

『黒牛と妖怪』
風野 真知雄 著、新人物従来社 刊

ときは、江戸が東京と改まった明治の世。主人公は、「妖怪」と恐れられた洋風嫌いの老いた武士。彼が密かに企んだ奇想天外な一件。それは、この時代に珍しい陸蒸気を消すという発想。そこで登場したのは、黒い牛。
果たして、結末はいかに…。この『黒牛と妖怪』は同タイトルを含め、5 つの物語の短編集です。著者デビュー作、歴史文学賞受賞作品となります。

『えらんだお産』
大葉 ナナコ 著、河出書房新社 刊

本書は、42 人のお産体験ストーリーと最新お産事情が書かれています。世間では「妊婦のたらい回し」などお産の一部分だけ報道され、事実とは異なるイメージが増えていくことが残念と語る著者。
「事実を伝えたい」そんな著者の想いから実体験を基に生まれた 1 冊です。「それなら私も産んでみたい」「これは私も気を付けよう」と感動や痛みをおすそわけ。

今日は読書びより

『リンゴが教えてくれたこと』
木村 秋則／著、日本経済新聞出版社／刊、2009 年

昨年、著者の木村秋則さんを取り上げた『奇跡のリンゴ』がベストセラーとなりました。
今回出版された『リンゴが教えてくれたこと』は、「農薬はつらい」「死を覚悟して見つけたこと」などの各章から実体験が述べられています。
完全無農薬・無肥料でリンゴ栽培を成功させるまでの苦難の道のりが描かれたノンフィクションです。

町の情報ステーション「農業」

農業経営の温故知新。農家ってこんなにやりがいがある、楽しい、農家に嫁いだ嫁の実体験エッセイなどを集めました。「農業」をテーマに、本を展示・貸出します。

こどもの本の特集は「虫」

知っているようで知らない虫の世界。幼虫が成虫になるまで、虫はどこに住んでいるのか。
「虫」に関連した本を展示・貸出します。また、虫の幼虫？成虫？の実物も展示中です !!

- **おはなし会**　7 月 11 日㈯　10：30 ～
  対象：幼児～小学生
- **とことこおはなし会**　7 月 22 日㈬　11：00 ～
  対象：3 ～ 5 歳児
- **としょかん映画会**　7 月 25 日㈯　11：00 ～
  対象：幼児～小学生
  「もも子　かえるの歌がきこえるよ。」 約 80 分

夏休み図書館お楽しみ特別イベント

- 図書館内を夏模様に
  （7 月 22 日～ 8 月 23 日）
  図書館が涼しげな夏の装いにチェンジします。
- 調べ学習応援します！
  （7 月 22 日～ 8 月 16 日）
  自由研究や読書感想文で困ったら、図書館へどうぞ。
  調べ学習のための本などスタッフが紹介します。
- 夏休みブックトーク
  小学生向けに本の紹介（トーク）を行います。
  7 月 26 日（日）10:00 ～ 10:30　児童コーナー
  ※この日に限らず、本を選ぶ時に困ったら、いつでも声を掛けてください。

その本が　未来を見つける　キーワード　（平成 20 年度読書推進標語奨励賞作品）

地域包括支援センターだより　Health

こんにちは。一戸町地域包括支援センターです。

家族介護者交流会開催のお知らせ

◎家族介護者交流会に参加しませんか。

ご自宅で実際に高齢者の介護をしている（していた）方を対象に、月に１回「家族介護者交流会」を開催します。

交流会では、参加した皆さんと一緒に、日ごろ介護をしている中での問題や悩みを一緒に話し合いをしていきます。交流会の前には介護や認知症だけではない、いろいろなテーマでの勉強会も開催します。

日ごろ、介護をしている中で悩みを相談できる場所はあまり多くはありません。参加くださる皆さんに笑顔で自宅に帰っていただけるような交流会にしたいと考えていますので、ぜひご参加ください。

参加を希望される方は、開催日２日前までにご連絡ください。

■日程

７月 29 日（水）、８月 20 日（木）、９月 15 日（火）

※ 10 月以降の日程については、再度お知らせします。

■時間　13：00 ～ 15：00

■場所　町総合保健福祉センター　サークル室

■勉強会の内容

例えば…　・介護サービスを上手に使いましょう。
・食事について考えてみませんか。
・リラックスしてみましょう。…など

■参加費　原則無料

■申込み先　地域包括支援センター
☎32-3700　内線 603・612・616

総合保健福祉センターだより　Health

食中毒を予防しよう。食中毒油断禁物！！

じめじめした季節は、食中毒の危険性が高まります。食中毒とは、原因となる「細菌」や「ウイルス」が付着した食品や「有毒・有害な物質」が含まれた食品を「食べる」ことによって、腹痛、下痢などの「健康被害が起こる」ことです。

その中でも、ノロウイルス、サルモネラ属菌、カンピロバクター、腸炎ビブリオなどの細菌やウイルスに要注意です。食中毒の原因菌・ウイルスを「つけない・増やさない・やっつける」が食中毒予防のポイントです！

■つけない

・食品や手、調理器具をていねいにしっかり洗いましょう。
・手洗いは、石鹸を手のひらでよく泡立て、30 秒くらいもみ洗いしましょう。
・食品は、ラップなどに包んで保存し、他の食品に付かないようにしましょう。

■増やさない

・食品を保存する時は、冷蔵庫は 10℃以下、冷凍庫は－ 15℃以下で保存し、詰めすぎないようにしましょう。
・調理した食品は、室温で長く置かないで、早めに食べ切りましょう。

■やっつける

・食品の内部が 75℃以上の状態で、1 分間以上食品内部まで十分に加熱しましょう。
・調理器具は洗剤と流水で洗い、熱湯消毒・日光消毒・漂白剤の使用などで定期的に消毒しましょう。
・包丁やまな板は、肉用・魚用・野菜用に分けて、専用のものを準備しましょう。

※食中毒が疑われる時（腹痛、嘔吐、下痢など）は、早めに医師の診察を受けましょう。

■保健カレンダー

・**乳児・１歳児健診**
　８月 ４日㈫　13:00 ～　保セン
・**３歳児お誕生月歯科相談**
　７月 21 日㈫　9:15 ～　保セン
　８月 18 日㈫　9:15 ～　保セン
・**３歳児健診**
　７月 28 日㈫　13:00 ～　保セン
・**５歳児健診**
　８月 21 日㈮　9:30 ～　保セン
・**ＢＣＧ予防接種**
　７月 27 日㈪　13:00 ～　保セン
　８月 17 日㈪　13:00 ～　保セン
・７月は胃がん検診があります。日程は 25ページに掲載しています。
・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。
・助産師が妊産婦・新生児などの家庭訪問を行ってます。

詳しくは保健係（☎32-3700）まで

運動公園だより　Sports

スポーツでカラダとココロ軽やかに…

ウォーキングサークル『歩喜隊』と歩きたい!!

■期日　８月７日（金）
■時間　9：00 ～ 14：00
■参加料　500 円　※隊員、NPO 会員は無料
■集合場所　文化センター
■内容　文化センターから運動公園までのいくつかのルートを散策します。他に、簡単な体力測定も実施予定です。どなたでも参加できます！興味のある方はぜひご参加ください。
■問合せ　いちのへ文化・スポーツＮＰＯ（運動公園内）

総合型地域スポーツクラブ
『いちのへサンビレッヂクラブ』近況報告！！

いちのへサンビレッヂクラブ（坂下正則会長）はたくさんの地域住民の支えのもと、１年間で 100 回を越える色々なスポーツやフィットネス教室、季節に合ったイベント行事などを行ってきました。クラブの活動に参加してみたい方・事業企画や運営指導に興味のある方はどんどん事務局までお声掛けください。

◎皆さんのおかげでクラブ誕生１周年

▲中央が講師の高橋千春さんです。

クラブ設立１周年記念事業が６月 27 日に町体育館で行われました。当日はスペシャルスクールとして、元Ｗリーグ所属の高橋千春さんらを講師に迎えバスケットボール教室を実施し、クラブ会員のほか町内のバスケ部員総勢 53 人がトップ選手の技や練習方法について楽しく学びました。

その後はスポーツビンゴ大会や昼食会を行い、子どもから大人までにぎやかな時間を過ごしながら一年間を振り返り、将来の活動について語り合いました。

一戸交番だより

「夏季における水難・山岳遭難防止ついて」

これからの季節は、水の事故や山での遭難が多く発生します。
夏のレジャーを楽しむために、一人ひとりが事故に遭わないよう注意しましょう。

○水難防止について

昨年、岩手県内で発生した水の事故は 11 件です。地域と保護者が一体となって、子どもを水の事故から守るため、次のことに留意してください。

・子どもが水の事故に遭う危険な場所がないか、点検しましょう。
・水辺で遊んでいる子どもを見かけたら、注意してあげましょう。
・夏休み前には、地域の子供会などで子どもを集め、注意を呼び掛けましょう。

○山岳遭難防止について

昨年、岩手県内で発生した山岳遭難は 36 件（40 人）です。うち 65 歳以上の遭難者は 20 人で、高齢者の遭難率が増加傾向にあります。遭難しないために、次のことに留意してください。

【登山】
・自分の体力、技術に合った山を選びましょう。
・登山前には入念な準備運動をし、体調がすぐれないときは中止しましょう。

【山菜採り】
・行き先を家族に告げ、複数で出掛けましょう。
・熊よけのため、鈴やラジオを携帯しましょう。
・迷ったときは動き回らずに救助を待ちましょう。

◎平成 21 年の交通事故発生状況【5 月末現在】

	件　数	前年数	前年比
人身事故	8 件	14 件	▲ 6 件
死者	0 人	0 人	―
傷者	11 人	16 人	▲ 5 人
物損事故	69 件	64 件	5 件
飲酒運転検挙	0 件	1 件	▲ 1 件

※ 5 月中の飲酒運転検挙者はありません。

まちの人たちのために、ともに働いてみませんか？

一戸町職員採用試験のお知らせ

平成21年度の一戸町職員採用試験を次のとおり行います。

▼試験職種および採用予定人数

一般事務　若干名（昨年は2名）
建築技師　1名

▼受験資格

⑴一般事務
昭和49年4月2日から平成4年4月1日までの間に生まれた方。（学歴、性別は問いませんが、高等学校卒業程度の学力がある方）

⑵建築技師
昭和44年4月2日以降に生まれた方で、一級建築士の資格を有する方

ただし、次の方は受験できません。
・日本の国籍を持っていない方
・成年被後見人または被保佐人
・禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの方
・一戸町職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない方
・日本国憲法またはその下に成立した政府を、暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した方

▼受験申込受付期間

7月14日㈫から8月20日㈭までの土・日曜日、祝日以外の午前8時30分から午後5時30分の間に総務課へお申し込みください。

受験申込書は、郵送でも結構ですが、8月20日の午後5時30分までに到着したものだけを受け付けます。郵送の際には、封筒の表に「受験申込」と朱書きしてください。

▼試験日および試験会場

●第1次試験
9月20日㈰　午前10時～
二戸市立福岡中学校

●第2次試験
10月下旬（1次試験合格者）

▼その他

・受験申込書は、役場2階総務課、各支所にあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。
・写真を張っていないものは、受け付けません。

※お問い合わせは、役場総務課
☎33-2111内線201まで

町勢スケッチ　なぎなたの話

一戸町長　稲葉　暉

国体がまた岩手県にやって来る。二巡目である。一回目は四十年程前の昭和四十五年であった。その時に最初の国体ということで岩手県中がわき立った。

一戸町内でも聖火リレーが行われ、それを大勢の人が歓迎し、幸運にもそのランナーになった人もいたし、国道4号沿いに花壇が作られ、お祝いムードが一気に高まった。

しかし、残念ながら国体競技は一戸町内では開催されなかった。たぶん、どの競技種目を選ぶかの問題もあっただろうし、会場の施設の整備のこともあったであろう。さらに国体には全国各都道府県から人が集まるので、大勢の人を宿泊させなければならない。その収容能力の問題もあるのである。このような点で一巡目の時は町内開催を断念したのだと推察する。

さて、二巡目の岩手国体が近づくにつれ、何らかの競技を一戸町で開催しようとの気運が関係者の間で高まってきたのである。

まず、最初のきっかけは全国スポレク祭の成功であった。平成十八年に町内の御所野縄文公園を舞台にしてターゲットバードゴルフ競技が行なわれたのである。原動力はターゲットバードゴルフ協会の皆さんの熱意であった。

何としても全国レベルの大会を町内で開きたいと念じ始め、ついには会場地として選ばれ、その後も周到に準備を進め、見事な大会を開催できたのである。大会を順調に運営できたとの誇りと自信のほかに、全国から集まった選手役員からほめられながら深い交流ができたので感激も極まった。この体験からやればできるじゃないか。次も何かやれそうだとのムードが出てきたのである。

さて、国体となると別の競技を選ばなければならない。主要競技は簡単には誘致できない。何があるだろうか。

その思案の中で浮上したのがなぎなたであった。この種目であれば、現在の施設をそのままで使える。女子の種目なのと小振りな団体規模であるので参加者数はそんなに多くないので、宿泊もなんとかなるであろう。この種目の誘致に名乗りを上げている市町村がまれである。

もちろん、地元に競技をする人材がある程度なければならないので、ただ今、競技者を鋭意育成中である。気軽に練習に参加していただきたい。

なお、練習だけであれば男子もOKとのことである。

まちのお知らせひろば1

第45回衆議院議員総選挙期日前投票立会人募集

9月までに予定されている上記選挙の期日前投票立会人を募集します。

■応募資格　一戸町の選挙人名簿に登録されている方（平成元年6月1日以前に生まれた方）
■立会場所　役場1階会議室
■立会期間　選挙期日前12日間（選挙期日は未定ですが、7月下旬～9月上旬に予定されています）
■立会時間　8：30～20：00
■謝礼　1日9,500円
■応募期間　（期日厳守）
7月13日㈪～7月24日㈮
■応募方法　電話で住所・氏名・電話番号・所属政党など（所属している場合）をお知らせください。
■その他
①投票立会人は、1日2名お願いすることになります。
②選挙期日が決定後、立会可能日を伺い、応募者多数の場合は選挙管理委員会で調整し、決定します。
[問]町選挙管理委員会事務局
☎33-2111　内線580

平成21年度胃がん検診（前期）実施のお知らせ

以下の日程表のとおり実施します。指定日に都合の悪い方は、他の会場でも受診できますので、都合の良い日に検診を受けてください。

申し込み済みの方には、問診票を配布しています。申し込みをされた方で問診票が届いていない方、申し込みをしていない方で受診を希望される方は、問い合せ先までご連絡ください。

■対象者　今年度で35歳以上になる町民（下記に該当する方は受診できません）
①妊娠中の方、妊娠をしている可能性のある方　②胃・十二指腸の手術をした方
③過去にバリウムでアレルギー反応をおこしたことがある方（発疹・かゆみなど）
■受付時間　6：30～9：00　※各会場とも午前6時に開場します。
■検診料　900円（ただし70歳以上の方、生活保護家庭の方は無料）
[問]健康福祉課　保健係　32-3700　内線610

月　日	場　所	対　象　地　区
7月23日㈭	奥中山農業団地センター	奥中山1・2、摺糠、宇別、軽井沢
7月24日㈮	奥中山農業団地センター	奥中山3・4、旧中山、釜石、二戸郷、日畜、岳川、　豊ヶ丘、上下田子、袖ヶ沢
7月27日㈪	小鳥谷地区公民館	小性堂、野中、穴久保・女ヶ沢、野里、平糠地区、小繋地区
7月28日㈫	小鳥谷地区公民館	川又、中屋敷、下仁昌寺、上仁昌寺、居也中村、　道地駒木、若子内高屋敷
7月29日㈬	翔遊館（鳥海地区公民館隣り）	鳥海地区
7月30日㈭	姉帯多目的集会施設	姉帯・面岸地区
7月31日㈮	総合保健福祉センター	鳥越地区、楢山・来田地区、岩舘地区
8月3日㈪	総合保健福祉センター	一戸地区（北舘、袋町）、女鹿地区
8月4日㈫	町民文化センター	八幡町、越田橋、平船、小井田、上町、下町、横町、中町、向町、野田坂
8月5日㈬	町民文化センター	野田、中道、永代町、中田、　樋ノ口、小滝、駅前、諏訪野
8月6日㈭	町民文化センター	西法寺、稲荷、関屋、諏訪野

奥中山高原の「自然のめぐみ」を「ふるさと」から発信しませんか？

一戸町では農業振興と地域雇用維持のため、平成20年5月に旧いわて奥中山農協所有の乳製品加工施設を同農協より無償で譲り受け、その施設を奥中山高原農協乳業㈱へ賃貸借しています。

今年度は、国の経済対策臨時交付金を活用し、新商品の製造ライン整備や同社の販売体制強化に向けた取り組みなどを予定しており、町ではこのような形で奥中山高原農協乳業㈱への支援を行い、同社の安定経営を図ることとしています。

この度、奥中山高原農協乳業㈱では、「奥中山高原アイスクリーム」を町民の皆さま向けに格安で提供することを企画しました。お中元や贈答用として期間限定の特別価格でご奉仕しますので、ぜひご用命ください。

■期間　7月12日～8月14日

申し込みをご検討の方にはカタログを郵送かFAXでお送りしますので気軽にお問い合わせください。

[問]奥中山高原農協乳業㈱　販売課　☎36-1211
FAX36-1212

まちのお知らせひろば2

iはいちのへの頭文字です 携帯ショッピング iSHOP

[問]＝問合せ、申込み先

iショップホームページ　http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/
※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記のURLからご覧ください

7月

10～12日　コミセンロビー展
冨田喜平司　平糠展
9：00～17：00

25日(土)　**としょかん映画会**
コミュニティセンター
11：00～11：40

25日(土)　**夏休み映画会**
コミュニティセンター
14：00～17：00

26日(日)　**手づくり市**
手技工芸館
10：00～13：00

26日(日)　**わわわのステージ**
コミュニティセンター
14：00～15：30

8月

1日(土)　**アグドカズル**
一戸駅前商店街
19：00～21：00

2日(日)　**縄文の里ナニャトヤラ踊り**
一戸駅前商店街
18：00～20：00

人の動き（6月1日現在）

人　口	14,888人（－25人）
男	7,175人（－11人）
女	7,713人（－14人）
世帯数	5,822世帯（±0世帯）
	（　）は前月比
転　入	16人（180人）
転　出	26人（294人）
出　生	4人（38人）
死　亡	19人（124人）

（）は平成21年1月からの累計

★保育施設開放★

鳥海保育所　☎32-2220
小鳥谷保育所　☎34-2524
奥中山保育所　☎35-2319
は7月14日（火）9：30～12：00
一戸子供の家保育園　☎33-2859
◎「子育てサークルのびのび」は、
平日の月・水・金　9:30～14:30
※場所は、旧総合保健福祉センター

イベント Event

来田保養センターまつり

来田保養センターまつりを行います。響ファミリー一行の「歌謡・舞踊ショー」や一戸高校の創作演舞「華一」のほか、素人芸能大会などがあります。

皆さまのご来場をお待ちしています。

■日時　7月26日(日)　10：30～
■会場　来田保養センター
■無料送迎バス
鳥越から福祉センター経由
▶9：15と10：15の2回
小鳥谷経由
▶9：10と10：10の2回
[問]来田保養センター　☎32-2884

てづくり体験「木で作る昆虫」

木の枝を使ってカブトムシなどの昆虫を作ります。夏休みの工作として人気のある体験メニューです。参加者は軍手をお持ちください。それ以外の材料、道具は博物館で用意します。

■日時　8月2日(日)　受付9：30～
■製作時間　1時間30分
■会場　御所野縄文博物館　体験工房
■費用　150円
■持ち物　軍手（ナイフを使用するため、ケガ防止に持参してください。）
■対象　小学4年生以上
■定員　先着15人
[問]御所野縄文博物館　☎32-2652

お知らせ Infomation

7月連休期間中のごみ収集

下表のとおり7月20日（月：海の日）に町内中心部の燃えるごみの早朝収集を行いますので、ご協力お願いします。

二戸地区クリーンセンターは同日午前中は稼動していますので、燃えるごみ・資源ごみ・粗大ごみの持ち込みができます（有料）。

燃えるごみの収集	対象地区
朝6：30までに出してください。※資源ごみは集めません。	一戸、高善寺、西法寺地区（浪打、鳥海方面は集めません。）

[問]水環境課　生活環境係　☎33-2111内線230　二戸地区クリーンセンター　☎23-5660　8:45～12:00

水稲カメムシ防除でミツバチへの被害に気を付けましょう

8月になると水稲の斑点米カメムシの防除が始まります。斑点米カメムシは水稲の品質を低下させるため、防除は大変重要です。しかし、平成17年以降、県内では、このカメムシの防除に関連すると思われるミツバチの死亡事例が発生しています。

カメムシの防除にあたっては、農薬散布に際しての注意事項や巣箱の移動などについて、事前に水稲生産者と養蜂業者などで十分協議し、被害の防止に努めてください。

なお、地域の防除時期などの詳細については、最寄りの農業改良普及センター、JAにおたずねください。

[問]二戸地方振興局農政部地域農政推進課　☎23-9203　二戸農業改良普及センター　☎23-9208

ツキノワグマ生息数調査へご理解を

県では、第三次ツキノワグマ保護管理計画の策定に向けたクマの生息数を把握するために調査を実施します。

調査方法は、広葉樹林内にクマの体毛を採取する器具を設置し、体毛のDNA分析を行う方法です。

調査は6月から9月末にかけて行い、その際に調査員が林野に立ち入ることがありますので、調査についてご理解とご協力をお願いします。

[問]県自然保護課　野生生物担当
☎019-629-5371

二戸地区広域行政事務組合消防本部からのお知らせ

平成21年6月末現在、二戸管内で34件の火災が発生し、昨年と比較すると9件多く発生しており、非常に危惧しているところです。

火災などの初期消火活動に有効な消火器の取り扱いに熟知していただくため、消防本部では、財団法人日本消防協会の宝くじ助成金を活用し、「模擬消火器訓練装置（消火チャレンジャー：写真参照）」を購入しましたので、地域や学校での初期消火活動などの防火・防災の啓蒙活動の際は、積極的に活用してください。

詳しくは、二戸消防署または各分署にお問い合わせください。

[問]二戸消防署一戸分署 ☎33-3119

多重債務者弁護士無料相談

■日時　7月22日(水)・8月11日(火)
10：00～15：00
■場所　二戸地方振興局1階
消費生活相談室
■対応弁護士　岩手弁護士会所属
[問]二戸地方振興局　☎23-9201
※前日までに電話で予約してください。

働く人の心とからだの医師による無料相談

■日時　8月12日(水)　13:00～15:00
■場所　二戸市総合福祉センター
[問]二戸・久慈地域産業保健センター
☎23-4466

二戸地区無料法律相談

■日時　7月21日(火)、8月4日(火)
10：00～15：00
■場所　二戸市役所　※1日10人まで
■予約受付　二戸市　生活環境課
[問]二戸市生活環境課　☎23-3111
岩手弁護士会 ☎019-623-5005

まちの健康相談室からお知らせ

7月14日(火)	心の悩み事相談	13：00～17：00
15日(水)	水洗化相談	13：00～15：00
23日(木)	心配事相談	13：00～16：00
27日(月)	介護相談	13：00～15：00
8月11日(火)	心の悩み事相談	13：00～17：00
13日(木)	心配事相談	13：00～16：00

[問]まちの健康相談室　☎33-4535

戸籍だより（5月届出分）

☆お誕生おめでとう

名　前	保護者	住所
仁昌寺　南翔（みなと）	寿	小鳥谷上里
外岡　和（やまと）	俊	一戸小井田
土屋　晴翔（はると）	悟	一戸向町

♡ご結婚おめでとう

上平　和也	上平　祐美	楢山下楢山
堀内　均	與羽　愛由沙	月舘泉田前田
山火　沖士	土屋　朋子	一戸北舘

■ごめい福をお祈りします

中谷	邦美	楢山中屋敷	65
千葉	司	中山軽井沢	45
逢坂	藤市郎	姉帯野馬鹿	82
早坂	進	奥中山西田子	74
与羽	ハリヱ	出ル町与羽	85
中村	芳蔵	姉帯門前	92
袋井	トコ	一戸砂森	85
千葉	勝三	一戸本町	80
上山	敬一	奥中山西田子	55
田村	久尓	西法寺関屋	90
松原	正美	中山西火行	66
南舘	徳雄	中里中里	78
小寺	良子	小鳥谷仁昌寺	52
滝口	ヨシエ	中山軽井沢	67
上澤	和男	一戸大沢	66
沢久保	嘉吉	岩舘沢田	82
中嶋	サンコ	奥中山西田子	73
吉谷地	キミ	中山大塚	83
根反	ミワ	高善寺大川鉢	79

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。

■休日当番歯科医　▼診察時間 9:00～12:00　**■休日当番医**　▼診察時間 9:00～17:00

月日	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話
7月12日	ほんだ歯科クリニック	二戸	23-9591	藤田内科	二戸	38-2772
19日	森川歯科医院	二戸	23-6361	二戸クリニック	二戸	25-5770
20日	菅原歯科クリニック	二戸	23-1180	すがわら消化器内科	二戸	23-2879
26日	国香歯科医院（石切所）	二戸	23-2764	金田一診療所	二戸	27-2205
8月2日	ますだ歯科クリニック	二戸	26-8282	よこもり眼科クリニック	二戸	22-2230
9日	こしみず歯科クリニック	一戸	33-4618	むらかみ医院いたみのクリニック	軽米	48-1500
16日	菅歯科	二戸	23-5161	千葉耳鼻咽頭科	二戸	23-2009

町民割引券について

奥中山高原ではまちの皆さんが温泉を利用しやすいよう、右の割引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にフロントに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。

♨奥中山高原温泉

町民割引券（H21.8.31まで有効）

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴（貸しタオル、ヨーグルトなし）を下記金額でご利用できます。本券1枚につき1人有効。

	◇煌星の湯	◇朝朱の湯
おとな	600→500円	500→400円
こども	300→250円	250→200円

♨奥中山高原温泉

町民割引券（H21.8.31まで有効）

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴（貸しタオル、ヨーグルトなし）を下記金額でご利用できます。本券1枚につき1人有効。

	◇煌星の湯	◇朝朱の湯
おとな	600→500円	500→400円
こども	300→250円	250→200円